

# 平成 30 年度 学校経営計画書

## 1 目指す学校像

### (1) 教育目標

校訓「誠実勤勉」のもと、産業界の進歩発展に貢献しうる創造性豊かな実践的技術者の育成を目標とし、次の3点を方針として掲げる。

- ① ものづくりを通して豊かな人間性を育成する。
- ② 社会人としての見識を備えた人間性を育成する。
- ③ 真理を求め科学的な判断を通して、自ら創造することができる人間性を育成する。

### (2) 目標具現化の柱

ア 学習指導要領に即した教育実践を通して、基礎的・基本的な学力と技術・技能を定着させる。  
 イ 規律と礼儀を重んじ、コミュニケーション能力の高い、豊かな人間性・社会性をもつ生徒を育成する。

ウ 進路指導の充実を図り、生徒個々の進路を実現し、地域の産業を支える人材を育成する。

エ 心身の健康づくりを推進し、生徒の教育相談体制の充実を図る一方、教職員の多忙化解消にも努める。

オ 安心・安全で、家庭、地域等との連携を強化し、開かれた学校・愛される学校づくりを推進する。

## 2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	確かな学力の定着と自己表現力の育成	課題等の工夫を通して、家庭学習の定着や充実を図る。	「宿題や課題を必ずやる」と答える生徒が85%以上	各学科 各教科
		資格や検定等に計画的、積極的に挑戦させ、学習意欲の喚起や学力の定着を図る。	ジュニアマイスターを授与される生徒、ゴールド、シルバー合わせて20人以上	各学科
		共同学習の導入など授業改善に努める他、授業力向上のための研修を引き続き実施する。	「授業が身についた」と答える生徒が65%以上	教務課
		朝読書等の読書活動を充実・発展させる。	年間(12月末まで)図書貸出し数3,000冊以上	図書課
イ	基本的生活習慣の確立と自律の精神の育成	「明るい挨拶」、「端正な身なり」、「時間厳守」の指導を徹底する。	「挨拶、遅刻、身だしなみ指導をしっかりとしている」と答える生徒が80%以上、保護者が85%以上	各学年 各学級 生徒課 教務課
			一日あたり(1月末まで)の欠席7.0人以下、遅刻2.0人以下、早退1.0人以下	
		学科、部活動等での環境美化活動や社会貢献活動を奨励し、意欲的に活動できる体制づくりを行う。	「社会貢献活動に積極的に取り組んでいる」と答える生徒が75%以上、保護者が80%以上	各学科 各部活動

ウ	進路指導の充実・推進	企業研究や面接指導の充実など、個々の生徒に対応した就職・進学指導を行う。	「生徒の適性を生かした進路指導、進路相談をしている」と答える生徒が80%以上、保護者が85%以上	各学年 各学級 進路課
エ	教育相談体制の充実と教職員の多忙化解消	教育相談室を核にして、学校の全組織をあげて、教育相談・特別支援教育の体制を充実させる。	「相談がしやすい」と答える生徒が70%以上、保護者が75%以上 「信頼できる先生が居る」と答える生徒が70%以上	保健環境課 教育相談室 全教職員
		教職員が意欲を持ち、生徒に向き合う時間の確保のため、適材適所の配置、適正な業務分担を図る。	定時退勤日や部活動の休日励行、会議時間の短縮化、会議資料の削減に努める。	全教職員
オ	安心・安全の学校づくり	ホームページを適切に更新するなど教育活動の広報及び出前講座等を積極的に行い、地域との連携を深める。	「地域や中学校に伝えている」と答える生徒が70%以上、保護者が75%以上	総務課 各分掌 各教科 各部活動
		コンプライアンスの遵守及び情報管理の徹底等を図り、信頼される学校づくりを目指す。	「学校生活に満足している」と答える生徒が80%以上、「入学させて満足している」と答える保護者が85%以上	全教職員
		安心・安全な校内環境の整備と充実を図り、学校経営予算の適正な執行に努める。	老朽化施設の整備に予算要求を行う。教材・教具の早期整備に努め、年間の執行計画を9月末までに策定する。	事務室
		安全教育や防災教育を工夫・改善し、生徒自ら判断、行動できる力を育む。	地域防災訓練への参加率80%以上	総務課